

キャリア教育図解

初出：西村美東士「社会化・個人化の視点から見たキャリア教育の課題—生涯教育文化学科におけるキャリア教育体系化モデル設定の試み」、聖徳大学生涯学習研究所紀要『生涯学習研究』10号、pp. 23-29、2012年3月 ほか

表1 キャリア教育の課題

項目	番号	課題
職業の理解	1	具体的な仕事内容の理解促進
	2	必要な職業知識の明確化
自己の理解	3	具体的必要能力の明確化
	4	個人の「職業への構え」の育成
自己と職業の調和	5	職業上必要な交信力と論理力の育成
	6	社会対応型能力活用力の育成

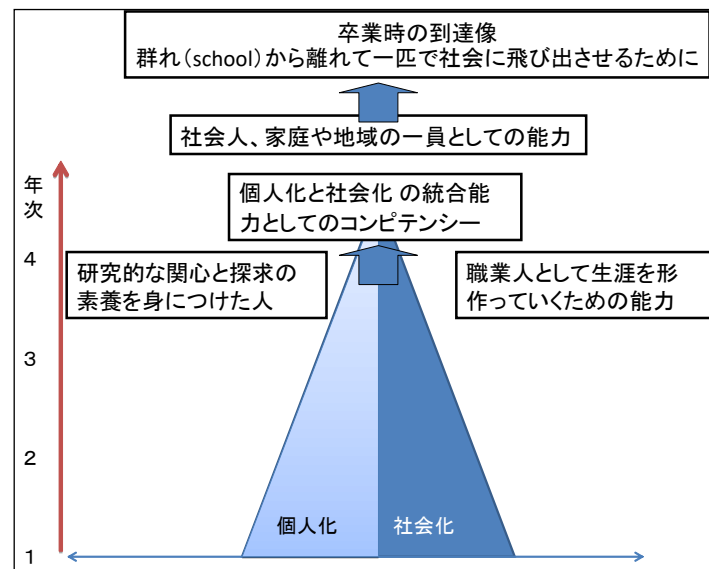


図1 高等教育のモデル仮説

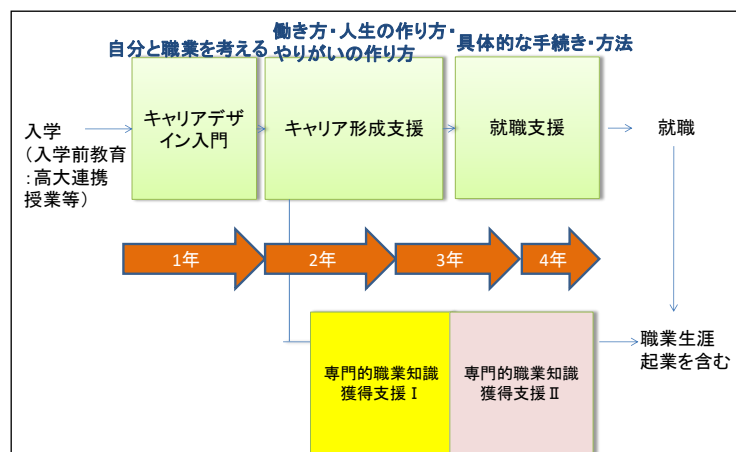


図2 学科キャリア教育のモデル仮説

下に示したチャートから、われわれは新設生涯教育文化学科の I D を次のように定めた。

それぞれの I D に該当する機能カードは、白地、黒地、網掛で示してある。

ID_01（白地）子どもからお年寄りまでの「学び」とその支援について学びます。

ID_02（黒地）人々の生活や学習・文化・レクリエーションをお世話する資格が取得できます。

ID_03（網掛）組織や団体の人間関係と生産性を改善し、子どもや大人を笑顔にする人材として活躍できます。

また、上の 3 つの I D から、次の学科キャッチコピーをまとめた。

【本学科の特徴は、社会で即戦力、プレゼン・コミュニケーション実践、多様な体験、交流・連携、そして夢のある人生です】

最終成果としてのキャッチコピーにある「社会で即戦力」などのキーワードがキャリア教育と密接な関連をもつことはいうまでもないが、ここでそれ以上に重要なのは、キーワードに所属するいわば「分解された」個々の「機能カード」（本来のクドバスにおける「能力カード」に該当）である。

生涯教育文化学科ID作成WS成果:クドバスチャート「学科が求める教育イメージ」

キーワード	機能-1	機能-2	機能-3	機能-4	機能-5	機能-6	機能-7	機能-8	機能-9	機能-10
1	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	1-9	1-10
社会で即戦力	自信をもって社会に出て行ける学生養成	卒業生が臨時講義をする特別授業	大学入学後の伸びをはかる	自分たちの活動を発表する場を与えられている恵まれた環境	卒業後も相談の出来るような学科	自分が有名になれる(テレビに出る、雑誌に出る等)のチャンスがある	高齢社会に活性化を促すスタッフを養成する	人前に立つことで自信をつけていく	半年間、学科の実習助手経験(カバン持ちの例)をさせる	子どもたちのお世話をする力が身に付く
	1-11	1-12	1-13	1-14	1-15	1-16	1-17	1-18	1-19	
	子育て支援者になれる	社会の改造の一端に参加	社会的なニーズを把握できる専門家	自分たちの活動を表現できる(例えば、ビデオ作り、アナウンサー)	スポーツのインストラクターになれる	自分の家で教室が開ける	民間企業でも、教育でもつぶしのきく就職	社会に出て働くことに意欲が持てる	青少年や親、大人に対して、最適な学習方法を教えられる	
2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	2-9	2-10
プレゼン企画・実践	プレゼン能力を身につけられる	企画力をつけられる	考えたことを実行にうつす行動力が優れる	地域にプランナーを養成する	レポート作成能力の育成	職業能力が向上し、プレゼン能力が身に付く	人々の幸福追求とその援助方法を論文にまとめる	大学と地域とが連携したプログラムを多く持っている	学科に対する地域協力員制度	伝統と革新の融合と調和
	2-11	2-12	2-13							
	自分らしさを発見できる	自分の意見をきちんと表明できる	レクリエーション・ゲームなどを積極的に活用する							
3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	3-9	3-10
多様な体験	様々な体験が可能	多様な関心に応えられる	様々な資格を目指す	多様な資格を取得して、活動の幅が広がる	体験的な授業で単位を取ることができる	組織のパフォーマンスを上げられる	組織内で悩む人を助けることができる	組織の人間関係を良くすることができる	チャレンジ精神を身につける	人間にとっての文化の深みを知る
	3-11	3-12	3-13	3-14	3-15	3-16	3-17	3-18	3-19	3-20
	総合的な判断力を持つことができる	問題分析能力の育成	問題意識を明確に持っている	論文作成能力の育成	自分を表現することが上手になる	実践的なスキルの養成	多様な能力開発を目指す	自分の意見を人前で発表できるようになる	高校での活動が生かされる学科	学習の意義をマスター
4	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	4-10
コミュニケーション能力	人々の心の交流を促進する力が身に付く	相談の受け方が上手になる	大人と会話ができる	世代の異なる人と関わるのが上手になる	色々な人との出会いによる社会性の育成	地元住民とのコミュニケーションを通し、真の大人の教育ができる	在籍10年程度の学生もいる学科(リカレント・途中就職)	共同作業ができる	対話力の育成	外交的な人間育成ができる
	4-11	4-12	4-13							
	人とかかわる力を身につける	コミュニケーション力をつけていく	協調性を養う							
5	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	5-6	5-7			
交流・連携	多くの人(有名な人、自分とは違う人)と知り合う機会が多い	NPOやNGO分野で活動家と知り合う機会があり、目標の人に出会える	生涯学習職員や活動家と交流できる	行政との結びつきが強固である	全国に協力関係の自治体。学生も協力する	他の大学の学生とネットワークする活動ができる	各種社会教育団体との交流を広げる			
6	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7			
心の交流	心の教育を教える	思いやりがある	少人数教育で、行き届いた教育が可能	高校生に魅力ある科目の設定	くつろぎ空間を提供	教師との心の交流	活動の仲間が増え、一生の友達を持つことができる			
7	7-1	7-2	7-3							
夢のある人生	本気の人生を歩む	明日の夢の実現	将来に希望が持てる学科							